

シンポジウム

「カーボンニュートラル社会創出に向けて

ーSuperconductivity Global Alliance (ScGA) および国内の取り組みー」

共 催：JSPS 学術研究動向等に関する調査研究

日 時：12月5日(火) 15:15～18:00

会 場：A会場(国際貿易ビル10F 国際会議場)

趣旨

低温工学・超電導学会では、2022年度春季第103回低温工学・超電導学会研究発表会に合わせて、2022年6月22日に一般公開シンポジウム「カーボンニュートラル社会創出に向けてー低温工学・超電導技術の役割を語るー」を盛況のうちに開催しました。その後、低温工学・超電導技術のカーボンニュートラル社会実現への貢献に関して、国内外で様々な取り組みが活発化しています。このうち世界的な取り組みとして、Superconductivity Global Alliance (ScGA) があり、当学会もその活動に協力しています。今回、ScGA 活動の中心者である Ziad Melhem 氏を招聘して ScGA の活動を紹介いただくと共に、国内の最新の取り組みを紹介いただくシンポジウムを企画しました。講演、パネルディスカッションを通じて、皆さんとカーボンニュートラル社会実現に向けて、低温工学・超電導技術の果たす役割を議論したいと思います。

プログラム

15:15～15:20

1. 開会の挨拶 (5分)

15:20～16:00

2. Overview of Superconductivity Global Alliance (ScGA) (40分)
Oxford Quantum Solutions Ltd.
Founder and CEO Ziad Melhem

16:00～16:20

3. カーボンニュートラルの実現に向けて
ー技術開発の現状・課題と超電導技術・低温技術の役割ー (20分)

NEDO 技術戦略研究センター サステナブルエネルギーユニット フェロー 矢部 彰

16:20～16:40

4. 水素・超電導コンプレックス (20分)

産業競争力懇談会 (COCN) 推進テーマリーダー

東芝エネルギーシステムズ (株) パワーシステム事業部 シニアフェロー 来栖 努

16:40～17:00

5. 液体水素冷却超電導発電機の開発 (20分)

関西学院大学 大屋 正義

17:00～17:55

6. パネルディスカッション (55分)

モデレータ：低温工学・超電導学会会長 秋田 調

パネラー：Ziad Melhem

NEDO 矢部 彰

COCN 来栖 努

関西学院大学 大屋 正義

低温工学・超電導学会専務理事 林 和彦

17:55～18:00

7. 閉会の挨拶 (5分)